



A Open Letter

2005年8月9日
日本SCO株式会社

報道関係各位

参考:8月8日発表されました米国SCO社長兼CEO Darl McBrideの公開書簡(Open Letter)を翻訳したものです

長く活躍するUNIX (Long Live UNIX) *The SCO Group*社長兼CEO ダール・マクブライドからの公開書簡

最初私がSCOグループに参加した3年前、私達は、最も収益性があり、顧客、投資家、再販業者、開発者、および従業員に最も多くの利点を提供したエリアに会社の焦点を合わせました。それがUNIXでした。人々は私達が気が狂っていると思いました。しかし、SCOがUNIXオペレーティングシステムを所有し、UNIXが私達の会社の収益の95パーセントを上げており、また私達はUNIXの次世代のバージョンに対し顧客からの強い要求を得ているので、私達が私達の努力を集中すべき作業です。

それ以来、私は色々な人からよく「SCOは、本当に製品と技術を改革しようとしている会社ですか、または貴方はIBMとの裁判に勝ち、そしてこれを終りにして乗り切ろうと考えているのでは」、「SCOは打倒Linuxだけですか」と聞かれます。もちろん、私達は改革をしており、みなさんがどのような他の競争相手でも破りたいと考えるのと同じように私達はLinuxを打ち破りたいと本当に思っています。私達は、ほとんどのほかの会社と同様に競合している環境において働いており、また生きています。ペプシとコカコーラの間の競合での戦いは有名です。GMとフォード、ボーイングとエアバス、およびレッドソックスとヤンキーズとの間の戦いも同様です。

もしあなたが、SCOのオフィスの中を歩くチャンスを持てば、私達がSCO UNIXを改良し、新しい製品分野において革新を目標としている会社であるとあなたははっきりと判るでしょう。すでにいくつかの開発は公表いたしましたし、他にもこれから紹介していきます。明確なことは私達の弁護士が法廷でUNIXを弁護している間、私達はより優れた技術と顧客へのより良い価値を持ち、市場で勝つことに注力しています。

6月に、私達は数年と数百万ドルの開発努力を掛けたSCO OpenServer 6をリリースしました、これによりLinuxを色々な分野で越える製品が誕生しました。私達の戦略的なパートナー、顧客、再販業者、エンジニア、および多くの他の人からのフィードバックにより、私はSCO OpenServer 6が多くの点でLinuxより優れていると信じています。

1. 安いコストのOpenServer 6

OpenServer 6は非常に魅力的な価格です。SCO OpenServer 6の購入価格は、599ドルから1399ドルまで、製品に対するライセンス、ソフトウェア修正、およびSCOのオンラインの知識ベースへのアクセスが含まれています。顧客は製品の代金を1回払えば彼らが望む期間使用し続けられます。

一方、Linuxベンダは、「餌と鞭」価格モデルを持っているようです。Linuxの最初の魅力は値札が0の価格でした。ただ、一般に彼らは一年毎に349ドルから2,499ドルまでを顧客に請求しています。Linuxを5年間稼働させるコストを計算すると、その顧客は1,745ドルから12,495ドルまでを支払います。Linuxライセンス自身は「無料」なので、あなたは、実際に

はライセンスとソフトウェア修正両方を含んだSCOの価格より高い年間登録料金を支払うことが本当にうれしいと思いますか？

Linuxは本当に無料ですか？もちろん違います。

「Free = 無料」は、今日、Webで最も多く検索された言葉のうちの1つです。Yahoo検索においてあなたが「Free」をタイプすると30億以上の検索結果が出てきます。「無料」は非常に強力なマーケティング概念です。私達は無料を愛しています。Linuxはあなたを「無料」という約束によって誘惑しています。しかし、あなたが「店」を出る前に、あなたはそれが無料以外のものであるということが判り驚くでしょう。「ただより高いものはない」ということわざを思い出してください。

2. より優れたカーネルを持つSCO

SCO OpenServer 6はUNIX System Vリリース5(SVR5)カーネルを含んでおり、証明された記録的な安定性と信頼性を生み出した25年を越す高度な開発作業の結果です。私達の最新のリリースによって、OpenServerは最高32プロセッサ、64GBのメモリー、テラバイトのファイル容量、および完全なマルチスレッドのアプリケーションをサポートします。Linuxはオペレーティングシステムの見地からはまだ未熟です。私は、私達と僅差で競合するようなカーネルが存在するようであれば挑戦するでしょう。レース場での新しい「レースカー」のようにLinuxはもっともらしく興味を引くことは出来るでしょうが、経験豊かなITプロフェッショナルはUNIXカーネルをテストすればレースカーのボンネットの下の現実のパワーが分かるように、SCO OpenServer 6の新しい機能と組み合わせられた実績のある、真のUNIXの力を理解するでしょう。

3. より優れたセキュリティを持つOpenServer

今日ITマネジャーがオペレーティングシステムを選ぶ時に、セキュリティを最も重要な決定ファクターのうちの1つに分類しています。技術危機管理会社mi2g (<http://www.mi2g.com/>)によると、SCO OpenServerは世界の最も安全なオペレーティングシステムのうちの1つです。SCO UNIXプラットフォームは、彼らが調査したどのオペレーティングシステムの中でも最も少ない脆弱性の数であったことを立証した報告があります。SCO OpenServer 6はすべての最新のセキュリティプロトコルと暗号化システムを持っています。

私達は、また、最新のセキュリティ脅威に迅速に対応していることを信じています。「問題の修正が遅いOSメーカー」という表題のCNETの2005年5月27日の記事で、Intelのハイパースレッド機能に影響し、ハッカーが重要な情報を盗むことが出来る脆弱性が説明されています。そのことの報告は3月にすべてのオペレーティングシステムベンダに連絡されました。FreeBSDセキュリティチームメンバーのパーシバル氏(Percival)は、「オープンソースオペレーティングシステムのBSDファミリーのメーカーならびにSCOとUbuntu Linuxから、その問題への正式な回答を受け取りました。しかし、Linuxベンダのレッドハット、ノベル、およびマンドリバはマイクロソフトと同じように対応が遅かった」と言っています。SCOはこのセキュリティ脅威に対応した1番目のメーカーでした。

(注 : CNET の 記事 <http://news.com.com/OS+makers+slow+to+fix+flaw,+researcher+says/2100-10023-5723114.html>)

またLinuxにとって不幸なことにmi2gは、Linuxオペレーティングシステムがとにもかくにもハッカーの天国になったと確認しました。ほんの7ヶ月前実施された調査でも、報告されたすべてのハッカー違反の65.64%を占めていたLinuxが手動のハッカー攻撃に対して一般的に最も無防備なオペレーティングシステムであることが証明されています。

Linuxの脆弱性については、mi2gが「ソフトウェア産業の偉大な皇帝が、新しい脅威が毎日、毎時間現れている中で処理が実行される流動的な環境に対する適当な衣服を着ていない真実を何時まで隠しとおせるものであろうか」と述べ

ています。

4. 顧客主導の計画を持つSCO

顧客は、公開された製品開発の計画を知ることを期待しています。Linuxの開発計画と予定は、一般に予測不可能として発表されていません。そのアプローチとは逆に、SCOは、顧客に耳を傾け、技術を評価し、市場にマッチした時期に導入する実績と信頼の方法に基づいた堅固な、公開され良く練られた計画が大切であると信じています。SCOはその計画が時間通りかつ目標通りに実行することを約束しています。

多分Linuxは、望んでいるものを望んでいる時に開発する曖昧さと組織されたボランティアに依存している限り、その開発方法と計画についての調整し続けなければならないでしょう。

5. 後方互換性を提供するOpenServer 6

私達の顧客に耳を傾けると、後方互換性(または下位互換性)が必須であるという強力な意見を受け取りました。後方互換性はLinux顧客にはほとんど存在していません。Linuxは寄与するボランティアの「コミュニティ」を持っています、そして誰かがこれがLinuxのために最適だと言うことにより、私はこれらが災いのもとだと見なしています。なぜなら、Linuxの別のポイントリリース(小規模更新版)へこれらの寄与のすべてを導入しようとするのは、必然的に問題を起こすからです。誰が、数千のアプリケーション、ドライバ、ハードウェア、および周辺装置をまたがる互換性をチェックしていますか？誰が後方互換性を確認していますか？Linuxの新しいアップグレードが必要な時には、ソフトウェアベンダとエンドユーザーは、おそらく、その上のアプリケーションもアップグレードする必要があります。

SCO OpenServer 6の顧客は、SCO OpenServerとXenixの最も古いバージョンに遡るアプリケーションのための完全な互換性を持つ安定したオペレーティングシステムを得ることが出来ます。後方互換性がそれぞれの新しいリリースに組み込まれていますので、SCOの顧客は、彼らのアプリケーションがSCOオペレーティングシステムの新しいバージョンで動かないとは思っていません。そのことが製品リリースの基準の一部であり、SCOの優れたエンジニアリングチームが毎回サポートしています。OpenServer 6も同じようにこのオペレーティングシステムで書かれた古いアプリケーションはこの製品に含まれている新しい機能と能力を利用しながら滑らかに動かすことが出来ます。

6. 貴社の主要な能力に集中できるSCO

インターネットでLinux極悪人スティーブと名付けられた男が登場する有名なアニメがあります。(注:Switch to Linux <http://ubergeek.tv/article.php?pid=54>) 60秒間のアニメで彼はLinuxを利用した彼の仕事について、「最初にあなたはLinuxを構成(config)しなくてはなりません、それからいくつかのシェルスクリプトを書き、RPM(注:Linuxのプログラム)を更新し、ドライブをパーティションし、カーネルにパッチをし、あなたのバイナリをコンパイルし、そしてあなたのバージョン関連性をチェックします」と説明します。アニメはユーモラスに作られていますが、その説明は真実とそれほど違っている訳ではありません。もしあなたがLinuxを採用するならば、オペレーティングシステムビジネスをする覚悟をしてください、なぜなら、その説明はまさにあなたが取らざるを得ない手順だからです。

顧客がSCOを選ぶ主要な理由のうちの1つは、彼らがオペレーティングシステムベンダになりたくないことです。彼らは、オペレーティングシステムの細かいことはSCOおよびSCOの再販業者の担当者や、サポートエンジニア、および製品開発要員に任せ、彼らのビジネスを自由に管理したいと思っています。

7. 製品を所有し、保証するSCO

SCOは、顧客にライセンスするOpenServer 6オペレーティングシステムを所有しています。またSCOは、長年にわたり数千の企業にライセンスされたUNIXオペレーティングシステム技術も所有しています。それとは異なり、Linuxディストリビュータは自分ではほとんど制御できなく、また所有していないオペレーティングシステムを出荷しています。実のところ、Linuxオペレーティングシステムの使用と配布を規定する一般公衆利用許諾契約書(GPL : General Public License)は、Linuxがエンドユーザーになんらの保証も与えないことを明記しています。知的財産権の見地から、SCO OpenServer 6はその製品を保証する会社によって支えられています。

8. 基本コードを統合しているSCO

ヨギ・ベラ(米国大リーグ野球選手)が昔、「もしあなたが道路の分岐点に来たら、とにかく曲がってください。」と言ったことがあります。分岐は、まさにLinuxに起きていることです。Linuxの素晴らしい約束は、それが複数のLinuxオペレーティングシステムに分岐や裁断しないということでした。崇高な意見としてはそうですが、しかし、Linuxディストリビュータは正反対に向かいました。彼らは、ISVを特定な流儀のLinuxに縛り付けようと試みています、したがって製品の新しいバージョンが出るたびにLinuxは分岐をしています。

彼らのオペレーティングシステムのどんな「無償」バージョン(Fedoraのような)も認証しないことによって、彼らは認証された「有償」バージョンのみに努力を傾注しています。彼らは絶対に分岐を作らないといったことを約束したことへの大変な問題を抱えています。この問題はソフトウェアとハードウェアパートナーが複数のLinuxディストリビューション認定をしなければならない時に複雑になります。

UNIXは独自の分岐の歴史を持っていますので、SCOはその基本コードを集中し、統合する方針を約束し、OpenServer 6のリリースで証明しました。ソフトウェアとハードウェアパートナーの認証プロセスを簡素化するために、OpenServer 6は、実際にUnixWareとOpenServer両方で動くアプリケーションの単一認証を可能にし必要な認証作業の数を減らしました。これらのパートナーは、業界がさらに増えるよりも、さらに少ない認証の機会が与えられたことを歓迎しています。

9. 伝説上の信頼性をもつSCO UNIX

顧客は製品が信頼性と安定性を毎年毎年提供するベンダを評価し、信頼します。良いオペレーティングシステムは強い建物の基礎に似ています、毎日それについて考えてはいませんが、そうであることを歓迎するでしょう。

いくつかの世界的に巨大で非常に有名な会社がビジネスを運営するのにSCOを信頼しています。この伝説上の信頼性により1社の巨大なSCO顧客は数千の事業所で使用するオペレーティングシステムとしてOpenServerを選びました。最近、彼らの展開の方法をこう私に説明してくれました、「私達はサーバーを戸棚に入れて、ドアをロックし、キーを隠します。私達は決して再び触れる必要がありません。」私は、これがOpenServerの重要な競争力であると信じます。

10. 表彰されたサポートチームを持つSCO

OpenServer 6の顧客は、製品の内部と概要を知っているサポートチームにアクセスできます。彼らは私達の製品ラインについて数十年の経験を持ち、世界中に拠点を持ち、24時間サポート可能です。さらに、SCOサポートチームは、製品を作ったまさしくその開発エンジニアに相談できます。これはLinuxディストリビューションでは不可能です。即時の解決要求が必要なほとんどの顧客のために、私達のサポートスタッフは社内におり、すべての顧客の質問に回答できる開発者に直接相談できるので、SCOはLinuxよりずっと速く対応できます。

逆に、Linux顧客が問題に直面し、プロフェッショナルテクニカル・サポートを必要とする時は、2つの選択肢しかありません。第一は製品のパッケージについて大きい役割を果たしたLinuxディストリビュータに依頼することです。ただし、その主要な開発とは関係がなかったディストリビュータです。または、2番目はLinuxボランティアコミュニティに依頼することでしょう。これらのボランティアは製品の開発にはお金を貰っていませんし、また彼らはLinuxディストリビュータから何も受け取っていませんので、彼らは製品をサポートする義務が全くありません。あなたは対応時間が予測不可能なこのLinux「ボランティア消防署」サポートモデルがあなたのビジネスの根幹であることを本当に信頼できるでしょうか。

これがSCO UNIXをLinuxの代案と考えるべき「トップ10の理由」です。もちろん、読者であるあなたは、たぶん、この記事が偏っているかと思っただろう。もちろん、その様な見方もあるでしょうが、しかし、報道機関がOpenServer 6について言っているのを見てください。ここに最近の健全な評価のいくつかを紹介します：

- 「OpenServer 6の機能は非常に強力なサーバーを構成します。」
- 「その価格から得られるものは見通せない位の大きな投資効果を生み出します。」
- 「これは、ほとんどの組織の要求を満たしてくれる強力で、信頼できるサーバーを組み合わせたことが出来ません。」
- 「改良されたカーネルをさわると、SCOグループのOpenServer 6は、新しくUnixWareアプリケーションとドライバーの互換性を提供すると共に非常に大きなスケーラビリティ向上が図られています。新しくまたは更新されたオープンソースソフトウェア群を含めて、これらの改良はこの信頼されたオペレーティングシステムをすでに稼働させているサイトにとってOpenServer 6を注目せずにはいられないものにします。」
- 「SCO OpenServer 6は勝利者です。」

私は、OpenServer 6で達成したSCOチームの仕事を非常に誇り高く思っています。私達は、私達がまだ完全ではなく、さらに多くの仕事をしなければならないと認めています。UNIXオペレーティングシステムの執事として、SCOは、今後も何年もの間技術的リーダーシップを維持し、約束したUNIXベースのソリューションを提供することを約束いたします。

敬具

ダール・マクブライド
最高執行役員 (CEO)
The SCO Group

SCOについて

The SCO Group (Nasdaq: SCOX)は82ヶ国以上で数百万の顧客がそのビジネスを拡大することを手伝っております。米国ユタ州リンドンに本拠を置くSCOは数千社のリセラーと開発者の世界的なネットワークを有します。SCOグローバルサービスはパートナーや顧客にローカライズされた信頼性のあるサポートとサービスを提供します。SCO 製品とサービスの詳細な情報は <http://www.jp.sco.com/> をご覧下さい。

SCO、SCO OpenServerと関連するSCOロゴはThe SCO Group, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。UNIXとUnixWareは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。その他の製品名、サービス名、会社名、イベント

ト名および出版物名は、各所有者の米国ならびに他の国における商標、登録商標またはサービスマークです。

<本件に関するお問い合わせ先>

日本SCO株式会社 広報担当

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-2-11

井門日本橋本町ビル

TEL: 03-5290-3900 FAX: 03-5290-3910

<http://www.jp.sco.com> 電子メール: info@jp.sco.com